

第 5 4 2 回 遊 佐 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 1 2 月 定 例 会

通 告 順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
1	7 番 菅原 和幸 (一問一答)	1. 行政事務のデジタル化への対応と住民への情報提供のあり方は	<p>コロナ禍で注目されることに「行政事務のデジタル化」がある。政府は、デジタル化を進めるため、来年以降に新たな組織を設置する方針である。地方自治体でも、IT(情報通信技術)に加え、AI(人工知能)も導入されることで、今後事務改善が図られるものと推測される。</p> <p>当議会のデジタル化の取り組みも一歩進み、職員間で使用するシステムを議会内に別に導入、通信費削減のほかスピード感ある対応ができていると認識する。</p> <p>デジタル化の効果を発揮するには、行政事務改革も必要であると考えます。将来的な対応についてどう検討されているか。</p> <p>住民への災害情報等の提供のあり方について、第 5 2 7 回議会(平成 3 0 年 9 月)で、SNS(Facebook)の活用を例に一般質問した。当町では、1 1 月 2 日から公式 SNS を開設したが、無料通信アプリ「LINE」を活用した情報提供が、県内自治体でも相次いでいる。県も同アプリを新型コロナウイルス感染情報提供に使用する動きがある。当町におけるホームページを含めた情報伝達の現状と今後の対応について伺う。</p>
2	2 番 那須 正幸 (一問一答)	1. どうなる。「共同加工所」	<p>町内企業が所有の施設、旧八福神に今年度から遊佐町地域活性化拠点施設、「共同加工所」が開設された。</p> <p>多額の予算投入がされ 1 年経つが、予定していた加工所利用目標までは届いていない状況ではないか。利用頻度がなかなか見えてこない中、今後どのような計画とセールスポイントをもって事業を進めていくのか伺う。</p>
3	8 番 赤塚 英一 (一問一答)	1. 教育現場でのデジタル対応は	<p>新型コロナウイルスの影響で、教育現場も大きく変化してきている。</p> <p>これまでもプログラミング教育など、デジタル関連の教育が話題に上ってきたが、ここにきてその流れが一気に加速し、環境整備、ハードの整備は進んでいるが、教える側が追いついていないように思う。</p> <p>町としての今後の対応、考え方を伺う。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
4	11番 齋藤 弥志夫 (一問一答)	1. 風力発電施設の近くの住民の健康調査	<p>風力発電の工事を行う前に説明会や環境影響調査(アセスメント)を行って、工事をやっても問題ないことになっている。工事が完了して風力発電が稼働してからは、人体に影響があるかについては、何も調査されていない。</p> <p>風力発電の近くの集落の人で、親子で体調を崩したり、具合が悪くなっている人もいるようなので、風力発電機の近隣の皆さんの健康調査を実施して、実態を把握する必要がある。</p>
		2. 灯油券 5,000 円分	<p>冬期になって灯油が値上がりすると、低所得の皆さんに灯油券 5,000 円分を補助する制度がある。低所得とはどの位の所得で、この階層の人数、5,000 円分の灯油券を受け取った人は何人で階層の何%なのかを伺う。灯油券は生活支援なのか。</p>
		3. 新遊佐小学校開校時の事業	<p>新校開校で、どのような事業が予定されているのか。4～5億円の経費がかかる見込みのようであるが、各事業の項目と予算はそれぞれどのようなものか。校長、教頭などの管理職は余分な人がかなり出るが、他校で受け入れることになるのか。給食業務、事務補助、教員の再配置などはどのようにするのかを伺う。</p>
5	4番 佐藤 光保 (一問一答)	1. 自衛隊による住民基本台帳閲覧に係る個人情報保護の問題	<p>遊佐町情報公開・個人情報保護審査会の機能は十分に果たされているか。</p>
		2. コロナ禍による少人数学級の要請への対応と統合の関わり	<p>(1) 低学年ほど心理的影響が大きいことへの配慮 (2) 特別支援学級の取り扱い</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
6	6 番 松永 裕美 (一問一答)	1. 町の高齢化対策「つなぐカード」の新提案	1. 65歳以上一人暮らし世帯と夫婦二人暮らし世帯数の現在と、ここ4年間の推移を伺う。 2. 高齢化対策の一つとして2種類の「つなぐカード」を新提案させて頂く。
		2. 災害時の同行避難の更なる明確化について	避難所生活が長期化した場合に、動物の苦手な町民と家族同様に共にくらしている町民の間でトラブルが発生せぬように、最初から同行避難マニュアルを今より徹底すべきだと考える。現状を把握した上で、前もって避難所を別々にセッティングした方が良いのでは。 また飼い主のモラル向上や適切な飼い方等の啓発も重要では。
		3. 町に若い人の豊かな発想や感性を表現できる場を	庁舎オープン時限定で、エントランスの壁面やデッドスペースを探し、有効利用し「町民まるっと参加型」の町の未来像等を自由に表現できるコーナー設置をこころみてはいかがだろうか。活気ある新庁舎になると考えるが町の御意見を伺う。
7	1 番 本間 知広 (一問一答)	1. ふるさと納税寄附金に対する今後のスタンスは	日本における寄附金制度の一つにふるさと納税がある。これは応援したい自治体に寄付すると、その分の所得税が控除される制度である。それに対し自治体は寄付額の3割を上限に返礼品を送ることができる。 町としても当然今まで取り組んできており、寄付金は町の様々な事業の財源となっていると聞いている。 令和2年度はまだ年度途中であるが、すでに寄付金は2億円を上まわり、当初予算を超えている。 町の主な収入の町税は額として減少傾向にある中で、このふるさと納税は財源として今後大きな意味を持つのではないかと考える。町はこのふるさと納税寄附金を財源としてどう考えているのか、どう活用していくのか、伺う。
8	3 番 佐藤 俊太郎 (一問一答)	1. マツの材線虫病対策の現状	○完全伐倒に対する施策を伺う ○関係官庁との連携を伺う ○民地における施策を伺う
		2. 高齢者の安全運転を支援するための補助金交付事業の現状	○実施経過を伺う ○今後の展望を伺う
		3. 交通死亡事故発生を受けた今後の施策	○交通死亡事故を抑止するための施策は

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
9	10番 高橋 冠治 (一問一答)	1. 熊出没に関して町の対応は	<p>今年の熊の市街地の出没や農作物等また人的被害が全国的に多発している。本町でも捕獲頭数は平年1～2頭にくらべ、すでに8頭に達している。通学路や民家にも現れ、人的被害も危ぶまれる状況である。町としての対策は。</p>
		2. コロナ禍での小学校統合の再検討は	<p>令和5年4月に新小学校の開校に向けて準備を進めているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、新たな社会的価値観や時代の変化をもたらす特に大都市圏では大きく、地方回避の流れもある。</p> <p>統合して大人数で切磋琢磨して行くことが、地方の町・遊佐の教育に合っているのか、もう一度立ち止まり、延期も含め検討すべきではないか。</p>
10	5番 齋藤 武 (一問一答)	1. 遊佐町消防団の現状とこれからの、どのように考えているのか	<p>消防団員のなり手不足が指摘されて久しい。また、時代の変化に応じた運営の見直しも求められている。だが、町の安全のためにはなくてはならない組織であることに変わりはない。</p> <p>こうした中、諸課題を団の内部の問題だけにするのではなく、町がより主体的に関わって解決に動くべきではないか。</p> <p>10月から11月にかけて団員対象に実施された「消防団活動の活性化、団員待遇の改善を図るため」のアンケート結果の分析や、地方交付税における消防団経費の扱いなど、具体的な検討事項は多い。</p> <p>消防団のあり方は、この町の安全と同時に、若者の定着や集落の維持、町の活気醸成といった課題にも直結する。これらも念頭に、幅広く議論することが必要ではないか。</p>
		2. 洋上風力発電事業計画、現時点での町の考え方は	<p>11月17日に一部の事業者による町民向け説明会が実施され、事業の具体像が見えつつある。</p> <p>一方、それに先立ち開催された県による説明会では、町民から多くの不安や疑問が出された。</p> <p>これらを前提に、町は遊佐町沖での洋上風力発電事業計画に対し、現時点でどのように考えているのか。</p>